

オープンキャンパス2024 同日開催イベント

地域連携事業

〈講演会〉 富雄丸山古墳 国宝級の発見を 奈良の活性化に つなげる



富雄丸山古墳で発掘調査に従事する本学学生
写真提供 奈良市埋蔵文化財調査センター

●日時／ 令和6年7月14日(日) 13:00～15:00
(入場開始12:30～)

●場所／奈良大学 令和館講義室 ●定員／先着200名(事前予約不要)

参加無料

 **奈良大学**
NARA UNIVERSITY

「好き」を深める。「好き」が広がる。



CROSS OVER



オープンキャンパス2024 同日開催イベント

地域連携事業

〈講演会〉

富雄丸山古墳

国宝級の発見を奈良の活性化につなげる

「日本最大の円墳」として知られる奈良市丸山町の富雄丸山古墳。奈良大学の学生も多数参加していた令和4年12月の発掘調査により国内最大の蛇行剣と前例がない盾形の銅鏡が発見され、社会の注目を集めました。この発見に関して、本学は令和5年3月に緊急シンポジウムを行いました。今回は第二弾として、富雄丸山古墳での大発見の意義や、大発見を奈良の活性化に今後どう繋げていくかをテーマに講演会を行います。

●日時／ 令和6年7月14日(日) 13:00～15:00(入場開始12:30～)

参加無料

●場所／奈良大学 令和館講義室 ●定員／先着200名(事前予約不要)

プログラム

- ◎開会挨拶 学長 今津節生教授
- ◎祝辞 奈良市議会 議長 森岡弘之議員
- ◎13:10～14:00 講演1 文学部 文化財学科 豊島直博教授 「発見の意義を語る」
※学生インタビュー
- ◎14:00～14:30 講演2 社会学部 総合社会学科 正司哲朗教授 「盾形銅鏡の魅力を市民に伝える」
※学生インタビュー
- ◎14:30～14:50 講演3 奈良市埋蔵文化財調査センター所長 中島和彦氏
「富雄丸山古墳・展示館・道の駅をつなぐ三位一体の活用」
- ◎まとめ 学長 今津節生教授 「今後の奈良大学の役割」

アクセス

◎近鉄京都線「高の原」駅 徒歩約18分

当日は9:00～16:00の間、近鉄高の原駅と奈良大学の間で
無料送迎バス(乗車約5分)を運行します。

自家用車でのご来場はご遠慮ください。

気象警報、災害、その他事情により中止となる場合があります。
その場合は、本学HP上でお知らせいたします。

◎お問合せ先／〒631-8502 奈良市山陵町1500
奈良大学 総合研究所 Tel.0742-41-9508

